

日塗工 整理No. (日塗工記入)	2017-60	労働災害状況調査表		
発生会社 事業所				
災害発生日時	2017年 11月 1日(水) 9時 00分 天候(晴れ) 温度(- °C)湿度(- %)			
災害区分	不休災害 <u>休業災害</u> (休業:2日)			
被 災 者	部門	製造		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他()
	年齢	55歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 8年 経験年数 8年
	傷病名	胸部肉離れ		
	傷病部位	胸部		
災 害 発 生 状 況	<p>スタッカーから搬入されたドラム缶(170kg)をドラムポーターを使用しパレットから降ろすためにはドラムを少し動かす(ズラす)必要があった。ドラムを上部を押し上げ少し浮かせて横に動かそうと(ズラそうと)力を入れた瞬間、胸部(脇腹付近)に痛みが走った。</p>		<p>状況概略(写真orイラスト)</p> 	
	災害の型 ^{※1)}	9. 動作の反動、無理な動作		作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()
	起因物:	ドラム(170kg)		特記事項
原 因 分 類	1. 人的要因(man)			
	当該作業における危険予知が不十分であった。			
	2. 物に関する要因(machine)			
	人力を必要としない設備、仕様でなかった。			
3. 環境要因(media)				
始業開始直後に重量物の運搬を行った。				
4. 管理的要因(management)				
RA(リスクアセスメント)による危険源の抽出が不十分であった。				
対 策	①ラジオ体操にて十分に身体をほぐしてから作業を開始する。			
	②当該作業に於いては二人作業にて行う(暫定対策)。			
	③今回事例を朝礼等で共有し再発防止を徹底する。			
	④工場内の危険個所の見直しを行い災害防止に努める。			
	⑤恒久対策として人力を必要としない様、ドラム吊り機を導入検討する。			
対策分類 ^{※2)} : 1-2災害・事故の想定と対応、1-4安全設計、1-6教育、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)